授業科目（単位―時間） 心理学（1 単位－30 時間）	時　　期 1 年　後期	担　当　講　師 山縣　豊樹

〈　授業科目の目標・概要等　〉

「こころ」は，目には見えませんが，自分の身体や外界の環境と互いに影響を与えあっていて，切り離せないものです。このような「こころ」は，「心理学」という名前でまとめられた学問分野において，科学的に研究されてきました。この講義では，心理学に関するいくつかのトピックを紹介します。心理学は非常に幅広く，他の様々な分野とも関わっているので，この講義を通して，看護師の仕事と心理学がどのように関わるのかについても，いっしょに考えてみましょう。

内　　容	方　　法
1. 「心理学」とは？	講義（2 時間）
2. 「こころ」を探る方法	講義（2 時間）
3. 「こころ」のしくみⅠ	講義（2 時間）
4. 「こころ」のしくみⅡ	講義（2 時間）
5. 「こころ」のしくみⅢ	講義（2 時間）
6. 心理学の歴史	講義（2 時間）
7. 「こころ」と個人	講義（2 時間）
8. 「こころ」と個人・集団	講義（2 時間）
9. 「こころ」と文化	講義（2 時間）
10. 「こころ」と遺伝・環境（1）	講義（2 時間）
11. 「こころ」と遺伝・環境（2）	講義（2 時間）
12. 「こころ」の発達	講義（2 時間）
13. 「こころ」と脳・身体	講義（2 時間）
14. 「こころ」の健康	講義（2 時間）
15. まとめ・補足・発展・応用	講義（2 時間）
定期試験	

〈　評　　価　〉

評価は，基本的に定期試験（100%）で決定します。ただし，必要に応じて，各回の確認テスト等を加味します。また，COVID-19 感染症対策等の事情で，定期試験の代わりにレポートを課す場合があります。

〈　テキストおよび参考文献　〉

基本的に，テキストは，使用しない。参考文献としては，以下のものが挙げられる。

山村　豊他：系統看護学講座　基礎分野　心理学，第 6 版，東京，医学書院，272ｐ，2017.
長谷川寿一、東條正城、大島尚・丹野義彦、廣中直行：はじめて出会う心理学　改訂版、有斐閣、339ｐ2008.

授業科目（単位―時間） 教育学（１単位－30 時間）	時　　期 １年　前期	担　当　講　師 二宮　孝行

〈　授業科目の目標・概要等　〉

教育学の意義を確認するとともに、教育現場における今日的な課題について理解を深める。
また、それらの課題についてグループワークなどを通して、原因を探り、解決方法を考える。
将来医療現場で働く受講者に、教育（チーム学校）と医療（医療チーム）が協力し合いながら、
役立つ情報を身に付け、学校現場の諸問題を考える講義としたい。

内　　容	方　　法
1. 教育の意義	講義（2 時間）
2. 教育学とは	講義（2 時間）
3. 教育学と学校制度	講義（2 時間）
4. 教育学「今日的な課題とその対策①子どもの学力と体力」	講義（2 時間）
5. 教育学「今日的な課題とその対策② いじめ・不登校」	講義（2 時間）
6. 教育学「今日的な課題とその対策③ 子どもたちの心と体」	講義（2 時間）
7. 教育学「今日的な課題とその対策④ 体罰」	講義（2 時間）
8. 教育学「今日的な課題とその対策⑤ 児童生徒理解」	講義（2 時間）
9. 教育学「今日的な課題とその対策⑥ 教育格差」	講義（2 時間）
10. 教育学「国語科教育とは」	講義（2 時間）
11. 教育学「国語科教育の課題①話すこと聞くこと」	講義（2 時間）
12. 教育学「国語科教育の課題②書くこと」	講義（2 時間）
13. 教育学「国語科教育の課題③読むこと」	講義（2 時間）
14. 教育学「国語科教育の課題④文字指導等」	講義（2 時間）
15. 講義のまとめ 「教育学のいまとこれから」	講義（2 時間）
〈　授業を受ける学生への要望　〉 教育学を教育・研究する者としての基本的な姿勢は、学ぶ者と教える者の両者の立場の相互理解と協調である。授業を通して、お互いに理解し、授業の中でも実践的に深めたい。	

〈　評　　価　〉

講義に使用したワークシート等の提出

〈　テキストおよび参考文献　〉

講義では関連資料を配付する。

またテキストは指定しないが、必要に応じて参考文献及び資料を紹介する。

授業科目（単位―時間） 論理学（１単位―15 時間）	時　　期 １年　前期	担　当　講　師 二宮　孝行

〈　授業科目の目標・概要等　〉

「論理的に考える」とはどういうことでしょうか。自分の意見や考えを誰かに伝えるときや、ある現象や症状などを伝えるとき、「論理」が大切になります。多くの例題を通してトレーニングし、論理的な考え方、論理の力を身に付け、論理的な文章を書けるようになりましょう。

内　　容	方　　法
1. 論理学をなぜ学ぶか	講義・演習（2 時間）
2. 三段論法	講義・演習（2 時間）
3. 演繹法と帰納法	講義・演習（2 時間）
4. 前提・逆・裏・対偶	講義・演習（2 時間）
5. 接続表現	講義・演習（2 時間）
6. 論理的文章を書く	講義・演習（2 時間）
7. 論理的文章の推敲	講義・演習（2 時間）
8. まとめ	講義・レポート（2 時間）

〈　評　　価　〉

授業の出席状況およびレポート・テストにより評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

講義では関連資料を配付する。

またテキストは指定しないが、必要に応じて参考文献及び資料を紹介する。

授業科目（単位―時間） 文章構成（１単位－30 時間）	時　　期 １年　前期	担　当　講　師 吉川　慶子

〈　授業科目の目標・概要等　〉

社会では、日常話したり書いたりする何気ない「言葉」すなわち国語表現によって、他者とのコミュニケーションが成立し、自分も評価される。この授業では、自己発見・自己啓発を心がけつつ、基本となる文章技術をマスターし、書き慣れることで文章表現力を高めていくことを目指す。

内　　容	方　　法
1. 言葉の機能、伝達とは何か	講義（2 時間）
2. 書くべき内容の発見	講義（2 時間）
3. 原稿用紙の使い方、作文「一日の出来事」	講義・演習（2 時間）
4. 事実と意見の区別	講義（2 時間）
5. 要約の仕方	講義（2 時間）
6. 要約の実践	講義・演習（2 時間）
7. 事実と意見の関係	講義（2 時間）
8. 文章の構想・構成、反論の想定	講義（2 時間）
9. 意見文「最近のニュースに思うこと」構成メモ	講義・演習（2 時間）
10. 意見文「最近のニュースに思うこと」完成	講義・演習（2 時間）
11. 文表現技術	講義・演習（2 時間）
12. 敬語Ⅰ	講義・演習（2 時間）
13. 敬語Ⅱ	講義・演習（2 時間）
14. 手紙の書き方Ⅰ	講義・演習（2 時間）
15. 手紙の書き方	講義・演習（2 時間）

〈　評　　価　〉

作文などの課題と授業態度、定期試験により総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

吉川慶子：国語表現法(上)，改訂版，　北大印刷，　121p，　2008.

授業科目（単位―時間） 情報科学（１単位－30 時間）	時　　期 １年　後期	担　当　講　師 工藤　祐司

〈　授業科目の目標・概要等　〉

「情報」と「コミュニケーション」の専門職である看護師にとって、ICT（Information and Communication Technology）は、その専門性を発揮するために必要不可欠なものである。ICT を取り入れながら，「情報」と「コミュニケーション」を、いかに「看護」の実践や学問としての「看護学」にいかすのかを学ぶ。

内　　容	方　　法
1. 情報と情報化社会 1)情報の定義と特徴 (1) 情報とは　(2) 情報の特性　(3) 情報の認知と意思決定 (4) 情報の伝達とコミュニケーション 2)情報化社会 (1) 情報化社会の成立　　(2) 情報化社会で求められること	講義（2 時間） 演習（2 時間）
2. 保健医療における情報 1) 保健医療と情報 (1) 医療における情報　(2) エビデンス情報に基づいた保健医療 (3) ヘルスプロモーションと情報 2) 看護と情報 (1) 看護における情報　(2) 情報化社会と看護 3) 医療における情報システム (1) 医療における情報の記録　(2) 病院情報システムと記録の仕方 (3) 保健医療福祉のネットワークと情報システム 4) 医療における情報システム (1) 医療における情報の記録　(2) 病院情報システムと記録の仕方 (3) 保健医療福祉のネットワークと情報システム	講義（2 時間） 演習（4 時間）
3. 情報と倫理 1) 情報倫理と医療倫理 2) 患者の権利と情報 (1) 患者の権利と自己決定への支援　　(2) 診療情報の開示 3) 個人情報の保護 (1) 医療・看護における個人情報　　(2) 情報の利用の仕方 4) コンピューターリテラシーとセキュリティ	講義（4 時間） 演習（4 時間）
4. 情報処理 1) 既存の情報の収集方法 (1) 文献検索　(2) インターネット上で役だつ情報へのアクセス 2) 調査によるデータ収集方法 3) Excel による統計解析 4) 文字情報の整理 (1) 対象と目的に応じた文字情報整理のポイント (2) 論文の書き方の基礎 (3) ワープロソフト（Microsoft Word）の使い方 5) 情報の発表とコミュニケーション	講義（4 時間） 演習（8 時間）

〈　評　　価　〉

レポートおよび出席状況により総合評価する。

〈　テキスト　〉

中山和弘編著：系統看護学講座　別巻　看護情報学，第 3 版，東京，医学書院，384p，2021.

授業科目（単位―時間） 社会学（1単位－30時間）	時　　期 1年　前期	担　当　講　師 杉浦　勉

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1.「真に民主的で人間的な世界社会はいかにして可能か」という事について考えていく。
2. 社会学は人間理解の根本に関わるべきであり、「人間による人間性による主題化をグローバルな場で行なうことである。
3. 現代の家族は、核家族化と少子化、教育機能の外部化にともなって、社会化の機能を低下させている。「家族」を虚構と認識することから未来の「家族」の再構築を考えたい。
4. 社会学は、人間の生と死に関わる深刻な問題を扱うよう要請されることになる。先端医療の発達は、心身問題と死生観の問題など医療自身と社会の両方に提起した。
また、地球的規模の環境問題の発生により「生命」重視、地球全体を意識した社会への転換である。これが真の意味の「生命の時代」への転換である。

内　　容	方　　法
1. 社会と集団　「社会とは何か」 【事例研究】環境問題・温暖化・食料問題	講義（2時間） 講義・VTR（4時間）
2. 現代社会　「現代における社会問題とは」 【事例研究】社会保障・虐待・うつ病・自殺・LGBT・多様性・発達障害	講義（2時間） 講義・VTR（4時間）
3. 家族　「家族の機能とは」 【事例研究】家族・少年犯罪・不登校・いじめ・引きこもり・教育格差	講義（2時間） 講義・VTR（4時間）
4. 看護を取り巻く社会制度　「制度と人間」 【事例研究】不妊治療・代理出産・臓器移植・告知	講義（2時間） 講義・VTR（4時間）
5. 看護という仕事　「職業・仕事と成長・雇用・社会的地位」 【事例研究】チーム医療・終末期医療	講義（2時間） 講義・VTR（4時間）
社会問題を取り上げ、講義と映像視聴により、各自の意見をレポートにまとめ、その意見を討議・交流する。	

〈　評　　価　〉

1. 毎回のレポート・振り返りの内容
2. 授業への意欲や態度
3. 試験による理解度、知識力、思考力

〈　テキスト　〉

毎回の講義資料

〈　参考図書　〉

1. 系統看護学講座「社会学」　医学書院
2.「社会学の基礎」　今田・友枝編　有斐閣
3.「臨床社会学の実践」　野口・大村編　有斐閣
4. 日本の論点（毎年度版）　文藝春秋社
5. 日本は何故ここまで壊れたか　マークス寿子　草思社
6. ニッポンの問題点　蓮見清一　宝島社
7. ナースtoナース　徳永　進　関西看護出版

授業科目（単位―時間） 生命倫理（１単位－30 時間）	時　　期 ３年　前期	担　当　講　師 小笠原　由紀夫　・　戸田　悦子 伊波　久美子

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1.「看護倫理」のテキストを手引きとして、看護において求められる倫理とは何かということについて考える。
2. 生命科学の進歩に伴う現代医療の問題を通し、生命の尊さや人間の尊厳について考え自己の倫理観を深める。
3. 看護実践で遭遇する倫理的ジレンマを検討し、とるべき行動を導く過程がわかる。

内　　容	方　　法
「生命倫理」について この「生命倫理」（小笠原担当）では、功利主義と生命倫理について学習します。 功利主義は 18 世紀のイギリスで生まれた倫理思想です。現実に起こっている諸問題をどのように解決すれば社会全体が平和になり、また国民の多くが幸せになるだろうか、と言うことを考えようとしたのが功利主義です。そしてこうした功利主義の考え方は 20 世紀に生じた生命倫理にそのまま受け継がれています。この２つの倫理思想がどのような関連性をもっているのか考えます。 1. 倫理学の基本的な考え方 1）倫理とは何か　2）倫理理論　3）他者理解と対話のための理論 2. 生命倫理 1）生命倫理とは何か　2）生命倫理の理論	講義（16 時間） 小笠原
3）生命倫理と看護職の責務 3. 性と生殖の生命倫理 1）性の生命倫理　2）生殖の生命倫理　3）生殖に関わる生命倫理の課題 4. 死の生命倫理 1）死について　2）死と医療　3）死について生命倫理の課題	講義（2 時間） 戸田
5. 先端医療と制度をめぐる生命倫理 1）移植医療　2）再生医療　3）遺伝子医療　4）医療資源と医療保険制度	講義（2 時間） 戸田
6. 看護倫理 1）看護倫理の歴史　2）看護の倫理原則 3）看護実践上の倫理的概念 4）看護実践と倫理 7. 専門職の倫理 1）専門職に求められる倫理（倫理綱領）　2）保健師助産師看護師法と倫理	講義（2 時間） 戸田 講義（2 時間） 戸田
8. 倫理問題へのアプローチ 1）看護実践における倫理問題の特徴 2）倫理的問題へのアプローチ法 9. 事例分析	講義 グループワーク （4 時間）戸田
10. 臨床における倫理的な諸問題への対応	講義(2 時間)　伊波

〈　評　　価　〉それぞれの試験で合格しなければならない。

小笠原講師担当分５割：筆記試験。（なお、宿題を課した場合は、宿題の出来栄えも評価の対象になる）

戸田講師担当分５割：筆記試験３割、授業の参加態度１割、提出物１割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

宮坂道夫：系統看護学講座　別巻　看護倫理，第２版，東京，医学書院，231p, 2018.

授業科目（単位―時間） 人間関係論Ⅰ（1 単位―30 時間）	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 村本　好孝

〈　授業科目の目標・概要等　〉

看護職において、人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養うことは社会から広く求められています。多様化する社会の中で、ケアの対象である患者の持つ価値観や期待を理解し、尊重することが必要です。専門職として様々な相手と、協働してケアを提供していくための合意形成と、人間関係を築く態度や能力を学びます。

内　　容	方　法
1. 人間関係基礎論	講義（8 時間）
1) 人間関係の中の自己と他者	
(1) 人間関係論　(2) 自己認知　(3) 他者認知	
2) 対人関係と役割	講義・演習（6 時間）
(1) 対人関係の成立　(2) 対人関係の維持と崩壊　(3) 対人葛藤と対処	
(4) 社会的役割	
3) 態度と対人行動	講義・演習（6 時間）
(1) 態度と態度変化　(2) 説得的コミュニケーション　(3) 攻撃　(4) 援助	
4) 集団と個人	
(1) 集団の特性　(2) 集団での課題遂行	
(3) 集団での問題解決と意思決定	
2. 人間関係をつくる理論と技法	講義・演習（2 時間）
1) コミュニケーション	
(1) 対人コミュニケーション	
(2) ICT（Information and Communication Technology）の発達とコミュニケーション	
2) コーチングの理論とスキル	講義・演習（4 時間）
3) アサーティブーコミュニケーション	
(1) アサーションの理論とスキル　(2) 看護への応用	
3. 保健医療における人間関係	講義・演習（4 時間）
1) 患者を支える人間関係	
(1) 患者ー看護者間の相互作用の評価（リフレクション）	

〈　評　　価　〉

レポートまたは筆記試験と出席状況・授業態度など総合して評価する。

〈　テキスト　〉

石川　ひろの：系統看護学講座　基礎分野　人間関係論，第 3 版，東京，医学書院，281p，2018.

授業科目（単位―時間） 人間関係論Ⅱ（1 単位―30 時間）	時　　期 2 年　前期	担　当　講　師 福田　信一

〈　授業科目の目標・概要等　〉

自我の発達と人間関係の発達について理論的に考察するとともに、交流分析を基に人間関係の様相を概観する。

前半は理論的考察を中心に講義形式で、後半は実践的な内容を演習的に取り扱う。特に、家族関係についての望ましいあり方や職場における人間関係についてカウンセリング心理学の視点から考察する。

内　　容	方　法
1. 人間関係発達の諸理論（1）「精神分析理論」	講義（2 時間）
2. 人間関係発達の諸理論（2）「精神医学における人間関係論」	講義（2 時間）
3. 人間関係発達の諸理論（3）「認知発達論」	講義（2 時間）
4. 人間関係と交流分析（1）「理論構成」	講義（2 時間）
5. 人間関係と交流分析（2）「エゴグラムの演習」	講義（2 時間）
6. 人間関係と理解すること	講義（2 時間）
7. 人間関係とコミュニケーション	講義（2 時間）
8. 人間関係と自己開示	講義（2 時間）
9. 人間関係とチームによる問題解決	講義（2 時間）
10. カウンセリングの理論と人間関係（1）「精神分析療法」	講義・演習（2 時間）
11. カウンセリングの理論と人間関係（2）「人間性中心療法」	講義・演習（2 時間）
12. カウンセリングの理論と人間関係（3）「ブリーフセラピー」	講義・演習（2 時間）
13. カウンセリングの理論と人間関係（4）「論理療法」	講義・演習（2 時間）
14. カウンセリングの理論と人間関係（5）「実存療法」	講義・演習（2 時間）
15. まとめ	講義（2 時間）

〈　評　　価　〉

授業の出席状況とテストにより評定する。

〈　授業を受ける学生への要望　〉

人間関係論は、現代社会におけるさまざまな病理現象を解決する重要な概念を提供する学問と考えている。看護職としては、職場における具体的な技術としては、広い意味でカウンセリングと共通性があり、職場における人間関係の醸成や精神科医療のみでなくクライエントとの日常的なかかわりに活かすことができるものと考えている。積極的な授業参加を期待している。

〈　テキスト 〉

資料を配布します。

〈　参考文献　〉

山谷敬三郎「支えつづけること」ぎょうせい、平成 14 年
星野欣生「人間関係づくり」金子書房
長谷川浩編「人間関係論」医学書院
澤田瑞也「人間関係の生涯発達」培風館など

授業科目（単位―時間） 英語Ⅰ（１単位－30 時間）	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 古白川　直美

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. 看護・医療専門の英語力を身につける。
2. 日常英会話を通じて、基本的な communication 能力や文法力を養う。
3. 短文（患者の権利章典、看護・医療情報等）を読解する力を養う。
4. 英語独特のイントネーション・リズム等に慣れることで、聞き取る力を養う。
5. 英語圏で暮らす人々の文化や生活習慣を知る。

内　　容	方　　法
Lesson　target 1. 基礎医療語彙・読解・看護現場に必要な会話 ・身体の部位 ・症状と兆候の表現 ・診療科 ・医療専門用語の構造 ・患者の観察とバイタルサイン ・与薬 ・カルテ 2. 日常英会話 ・Interview（be 動詞・一般動詞・疑問詞） ・Shopping ・Restaurant ・Could you～？・ Would you～？ ※各 target に、listening 問題や reading 問題を組み合わせ進めていく。 ※ペアワークを積極的に活用し、個々の発話の機会を増やす。 ※Reality のある場面作り。(例:shopping, restaurant では、実物の米ドル札・コインを使用) ※洋楽や物語を取り入れ、英語に親しむ。	講義・演習（30 時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験　　100 点

〈　テキストおよび参考文献　〉

＊下記の文献より、担当講師が資料作成し、配布します。

1. 看護師たまごの英語 40 日間トレーニングキット / 平野美津子・菱田治子 / アルク
Health Talk/Yoko Watanabe,Pamela Uchida/Pearson Education
2. クリスティーンのやさしい看護英会話/知念クリスティーン・上瀧真紀恵/医学書院
3. はじめての看護英語/尾崎哲夫/医学書院
Side by Side Book１ / Steven J Molinsky ,Bill Bliss / Longman
Side by Side Activity Workbook １/ Steven J Molinsky, Bill Bliss / Longman
Elementary Communication Games /Jill Hadfield / Nelson
Play Games With English 1・2 / Colin Granger / Heinemann
In a Dark Dark room and Other　scary stories / Alvin Schwartz

授業科目（単位―時間） 英語Ⅱ（１単位－30 時間）	時　　期 １年　後期	担　当　講　師 佐藤　　有

〈　授業科目の目標・概要等　〉
看護・医療に係わる英文資料に基づいた学習（「読み・書き・聴く・話す」）並びに現場で想定される基礎的な英語会話の学習をする。

内　　容	方　　法
＜授業計画＞ 1.Essay Structure①（英語エッセイの全体構造） 2.Essay Structure②（パラグラフとトピックセンテンス） 3.医療用語の特徴 4.Nurse-Patient Communication（来院会話）① 5.Nurse-Patient Communication（感情移入を中心に　精読）② 6.英語の音のメカニズム（口語英語） 7.Nurse-Patient Communication（測定会話）③ 8.Nurse-Patient Communication（ボディランゲージを中心に　精読）④ 9.人体に関する英語（頭部、人体、内臓） 10.Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's （運動がアルツハイマーを予防）① 11.Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's （運動がアルツハイマーを予防）② 12.日常生活支援の英語と災害の英語（会話） 13. Key Facts About Influenza (Flu)　（インフルエンザの基礎知識） 14. Coronavirus Protection　（コロナウイルス予防対策） 15. WHO ないし CDC（アメリカ疾病予防局）からのニュース	講義（30 時間）

〈　評価　〉
試験

〈 テキスト 〉
教科書は使用しません。資料は配布します。
〈 参考書 〉
英語の辞書を用意してください。

授業科目（単位―時間） 保健体育Ⅰ（1単位－30時間）	時　　期 1年　前期	担　当　講　師 御園生　康輔

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. 様々な運動・スポーツの実践を通して，運動・スポーツがもつおもしろさを味わいながら，体を動かすことの意義を認識し，日々の生活に運動・スポーツを積極的に取り入れることができる.
2. 運動・スポーツのもつ価値，多様なあり方を理解できる.
3. 実施する運動・スポーツのルール・特性を理解し，主体的に実践に取り組むことができる.

内　　容	方　法
1. オリエンテーション	講義
2. スポーツとは何か	講義
3. 運動・スポーツの多様なあり方	講義
4. 運動・スポーツと健康	講義
5. 体のセルフチェック，アイスブレイクゲーム	実技
6. アダプテッドスポーツ	実技
7. アダプテッドスポーツ	実技
8. アダプテッドスポーツ	実技
9. アダプテッドスポーツ	実技
10. ボール運動	実技
11. ボール運動	実技
12. ボール運動	実技
13. ボール運動	実技
14. ボール運動	実技
15. テスト	
※種目・時間数については変更する場合があります。 ※ジャージ・Tシャツ・運動靴等動きやすい服装で臨んでください。	

〈　評　　価　〉

技能・授業態度・出席を総合して評価します。

〈　テキストおよび参考文献　〉

テキストは使用しません。必要な場合は講師がレジュメを用意します。

授業科目（単位―時間） 保健体育Ⅱ（1単位－15時間）	時　　期 3年　後期	担　当　講　師 笹木　笑子　・椿原　宏哉

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. レクリエーションを通して、対象にあった楽しさを共有し、生涯学習を体験する。
2. レクリエーションで人間交流術を学び、身体の動きを使い自己表現をする。
3. 心身のリラックスと体力の維持・増進をはかる。
4. あらゆるレクリエーション（ゲーム・ソング・ダンス・ニュースポーツ・クラフト・軽スポーツ他）をつかい人間交流術、コミュニケーション・ワーク、ホスピタリティ・トレーニングとアイスブレーキングを学習する。（対象者にあったアレンジ法を学習する）

内　　容	方　　法
〈　単元目標および内容・計画等　〉	
1. 基本概念	実技（2時間）笹木
1）レクリエーションの意義について体験を通して学びます。	
2. コミュニケーション・ワーク（1）　アイスブレーキング	
1）「楽しさ」とは何かをゲーム・ソング・ダンスから学びます。	
3. コミュニケーション・ワーク（2）　ホスピタルトレーニング	実技（2時間）笹木
1）身近な様々なレク財（ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ）から、人間交流術の手法を体験的に学びます。	
4. コミュニケーション・ワーク（3）　ライフステージとレクリエーション	実技（2時間）笹木
1）ライフステージごとの心身の発達、健康保持、特徴をアクティビティを中心に考え、理解します。	
5. コミュニケーション・ワーク（4）	実技（2時間）笹木
1）各グループの計画に基づいた実践発表	
(1) 与えられたテーマや時間で創作ダンスの実践発表を行います。	
2）講義の振り返り	
3）評価	
6. アイスブレーキング自己の心を開放する。リラクゼーション、気功（通天貫地功法）練功。	実技（2時間）椿原
7. カナダ生まれのキンボール体験。ニュースポーツ種目の実技と実際を学習する。身体を動かし楽しさを体験する。	実技（2時間）椿原
8. インディアカ体験とディスコン体験。生涯スポーツ種目の実技と実際を学習する。身体を動かし楽しさを体験する。	実技（2時間）椿原
9. レクリエーション行事の企画運営の手順と対象者にあった、実技指導の実際を体験学習する。コミュニケーション過程の観察評価法を学ぶ。	実技（2時間）椿原

〈　評　　価　〉

【笹木講師】

「意欲・態度30%」「課題（創作ダンス）50%」「まとめ（レポート）20%」

【椿原講師】

レポート提出と簡単な実技試験と受講時間数。

〈　テキストおよび参考文献　〉

レクレーション活動援助法　中央法規

人間交流術　和田芳治著　レコネット

通天貫地功法　林　中鵬著　KKロングセラーズ

レクリエーションの意義とキンボール、インディアカ、ディスコン他解説のプリント

必要時提示します。

授業科目（単位―時間） 文化人類学（1 単位―15 時間）	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 横山　光

〈　授業科目の目標・概要等　〉

人の理解、患者の理解のためには、その背景にある文化を知ることが必要です。異なる家族や宗教などを通して異文化を知り、その背後にある論理や価値観を探求し、社会や文化の理解を深めます。

内　　容	方　　法
1. 文化人類学とは何か	講義（2 時間）
2. 食文化のいろいろ	講義（2 時間）
3. 美しさのいろいろ	講義（2 時間）
4. 神様のいろいろ	講義（2 時間）
5. 通過儀礼のいろいろ	講義（2 時間）
6. 病のいろいろ	講義（2 時間）
7. 生と死のいろいろ	講義（2 時間）
8. まとめ	講義・レポート（2 時間）

〈　評　　価　〉

授業の出席状況およびレポート・テストにより評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

講師配布資料

波平　恵美子編集：系統看護学講座　基礎分野　文化人類学，第 4 版，東京，医学書院，240ｐ，2021.

授業科目（単位―時間） 日本の文化（1 単位―15 時間）	時　　期 1 年　前期	担　当　講　師 前谷　千賀子

〈　授業科目の目標・概要等　〉

時代の変化の中で受け継がれている日本古来の文化である茶道を学ぶと共に、日常生活の基本動作を身につける。

内　　容	方　　法
茶道 1. 茶室への出入り、立ち居振る舞い 2. 礼 3. お手前 4. 感謝と礼儀	演習（16 時間）

〈　評　　価　〉

授業態度、実技、レポートにより総合的に評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

テキストは使用しません。